Spine Week Japan 2026
プログラム一覧

合同シンポジウム

No.	開催学会	セッションテーマ	タイトル	日時		会場	講師
1	第 60 回日本側彎症学会（JSS） 第 7 回 BioSpine Japan 研究会	側弯症の画像診断と治療	思春期特発性側弯症における 1 本の直線を用いた固定範囲の決定とリスク評価―シンプル・簡便・再現可能な手法を目指して―	19日	17:10 ～ 18:30	2	大場 悠己
			AI を用いた側弯症の診療支援：スクリーニング，画像評価から手術支援まで				山田 勝久
			人工知能を用いた特発性側弯症患者の脊椎パラメータ計測と手術プランニングの自動化				藤森 孝人
			Transformer モデルを用いた思春期特発性側弯症の進行予測 ―正面 X 線像からのアプローチ				高橋 真治
			特発性側弯症進行予測のためのマルチモーダル・アンサンブルモデルの開発と精度検証				有馬 秀幸
			思春期特発性側弯症の角度進行を予測する機械学習モデル				大山 秀平
2	第 60 回日本側彎症学会（JSS） 第 16 回日本成人脊柱変形学会（JSASD）	中年期の側弯症の手術療法	遺残 AIS の手術戦略：30 代後半の不可逆的変性と社会的背景から考える早期手術の意義		14:20 ～ 15:40	3	小谷 俊明
			中年期 AIS は待つべきか，治すべきか？―腰椎椎間板変性の自然経過から考える最適な手術戦略―				渡邊 慶
			成人型特発性側弯症 (小児期から遺残した症例) に対する矯正手術の施行時期に関して				金子 慎二郎
			中年期特発性側弯症遺残変形に対する手術治療―いつ手術を勧めるべきか？―				松村 昭
			思春期特発性側弯症 Lenke type 5 成人期遺残例の病態と手術成績				渡辺 航太
			中年期側弯症手術のストラテジー				飯田 尚裕
3	第 35 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会（JSIS） 第 13 回日本脊椎前方側方進入手術学会（JALAS）	LIF の進歩と課題	ATP 法による LIF の手術戦略 ―開創器システムの特性とカメラ映像による術野の可視化―	20日	14:35 ～ 16:25	1	小野 孝一郎
			当教室の LIF 経験から考える次世代 LIF ― 新たなシステムと PTP の可能性 ―				谷 陽一
			第二世代 LIF がもたらす手術戦略の進化―特性を理解した安全な使い分け―				中島 宏彰
			次世代 LLIF への挑戦―CONDUIT Lateral の特徴と実践的使用法―				檜山 明彦
4	第 35 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会（JSIS） 第 16 回日本成人脊柱変形学会（JSASD）	首下がり症候群の病態と治療	首下がり症候群における項靭帯損傷：病態理解と再建術の可能性		15:50 ～ 17:10	2	遠藤 健司
			首下がり症候群に対する薬物治療の可能性 ― SNRI レスポンダーの特徴からみた病態理解―				船尾 陽生
			首下がり症候群の外科的治療戦略				石井 賢
			成人脊柱変形手術後の頚椎アライメント悪化は早期一過性変化と遅発性変化で病態が異なる				長谷川 智彦
			首下がり症候群に対する胸腰椎矯正手術				工藤 理史
			首下がり症候群に対する手術戦略とその成績				宮本 裕史
			積分値理論から考える頚椎後弯変形の手術治療				水谷 潤
5	第 34 回日本腰痛学会（JSLSD） 第 7 回 BioSpine Japan 研究会	椎間板再生の過去・現在・未来	椎間板の恒常性維持を介した変性予防へのアプローチ　－より安全な遺伝子治療を目指して－		13:25 ～ 14:45	5	由留部 崇
			ヒトを対象とした臨床治験臨床治験が行われている NF-κB デコイの変性椎間板に対する動物モデルを用いた評価				加藤 賢治
			腰椎椎間板障害に対する多血小板血漿 (PRP) を用いた再生治療：治療成績と今後の展望				明田 浩司
			ヒト iPS 細胞由来髄核様組織による椎間板再生治療の開発髄核　ー髄核 Replacement という新たな治療概念ー				海渡 貴司
			椎間板再生医療の実用化に向けた超高純度な生体吸収性バイオマテリアルと同種骨髄由来間葉系間質細胞の開発				須藤 英毅

No.	開催学会	セッションテーマ	タイトル	日時		会場	講師
5	第 34 回日本腰痛学会（JSLSD） 第 7 回 BioSpine Japan 研究会	椎間板再生の過去・現在・未来	椎間板再生医療の現在地―髄核前駆細胞の発見から臨床実装へ―	20日	13:25 ～ 14:45	5	酒井 大輔
6	第 29 回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会（JASMISS） 第 16 回最小侵襲脊椎治療学会（MIST）	低侵襲脊椎手術を支えるチームビルディング	低侵襲脊椎手術における周術期リハビリテーションと理学療法士の役割			8	峯玉 賢和
			低侵襲脊椎手術を支える『自律するチーム』のつくり方				松川 啓太朗
			低侵襲脊椎手術を円滑に行うためのチームビルディング				筌場 大介
			チームビルディングは、きれいごとではない。				原田 智久
			低侵襲脊椎手術の拡大と病床運用を支えるチームビルディング				隈元 真志
			脊椎と人工関節専門クリニックに於ける Team Building と工夫　～如何にしてベッド 19 床で年間 1100 件の手術を実現しているか～				大室 智士
7	第 60 回日本側彎症学会（JSS） 第 34 回日本腰痛学会（JSLSD） 第 16 回日本成人脊柱変形学会（JSASD）	脊柱変形と腰痛	脊柱矯正固定術後患者の腰痛を予測する術前体幹筋量カットオフ値の作成	21日	8:00 ～ 9:20	1	浦山 将司
			骨粗鬆症性椎体骨折後後弯変形と遺残性腰痛				圓尾 圭史
			成人期以降の脊柱変形と腰痛				長谷川 和宏
			成人脊柱変形に由来する立位継続時の腰背部痛に対する至適評価法と手術適応に関する検討				金子 慎二郎
			成人期における思春期特発性側弯症遺残変形と腰痛の関係				大橋 正幸
			脊柱変形と腰痛（おぶせスタディから）				上原 将志
8	第 29 回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会（JASMISS） 第 16 回最小侵襲脊椎治療学会（MIST）	低侵襲固定術のブラッシュアップ（固定術）	外視鏡を用いた低侵襲腰椎椎体間固定術 - 外視鏡があれば内視鏡がなくても低侵襲を実現可能 -		14:15 ～ 15:35		高尾 真一郎
			1.9mm ビデオ内視鏡によってモノポータルとバイポータルは融合する				水野 哲太郎
			AFESS を基盤とした多方向内視鏡アクセスによる全内視鏡下腰椎椎体固定術 Multiple Endoscopic Access Lumbar Interbody Fusion：MALIF の特徴				平塚 重人
			KLIF のブラッシュアップ　― 安全性と治療成績向上への取り組み ―				木島 和也
			当院における MIS-TLIF の手術手技と各種単椎間固定術との術後成績の比較				朴 正旭
			Microendoscopic Lumbar Interbody Fusion（MELIF）の治療経験―37 例の検討と今後の展望―				前田 孝浩
9	第 29 回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会（JASMISS） 第 16 回最小侵襲脊椎治療学会（MIST）	進化する保存治療を考える	エコーガイド下注射を用いた多次元的機能評価		15:40 ～ 17:00		岩﨑 博
			低侵襲脊椎手術とともに進化する保存療法―薬物療法の最適化と栄養・睡眠・心理社会面の全人的マネジメント―				鉄永 倫子
			腰部脊柱管狭窄症に対する段階的保存治療戦略：神経根ブロック・PRF・ラッツカテーテルとリハビリの統合アプローチ				寺田 哲
			Endo-Tech TSCP による脊柱管鏡視の現状と限界―TSCP の現在と未来―				横須賀 公章
			脊椎疾患領域における多血小板血漿 (PRP) を用いた Point of care 治療				明田 浩司
10	第 34 回日本腰痛学会（JSLSD） 日本肥満学会	肥満を合併した腰痛症に対する治療戦略	肥満と腰痛の疫学 ― 国内外エビデンスからみたリスク構造 ―		8:00 ～ 9:30	6	二階堂 琢也
			腰椎手術と肥満の関連 ― 日本整形外科学会・日本肥満治療学会・日本肥満学会からのステートメント ―				谷島 伸二
			肥満に対する腰椎手術成績や合併症について				中嶋 香児
			肥満と腰痛 ―高度肥満症患者に対する理学療法の役割―				秋葉 崇
			腰痛症に対して内科的な肥満症治療は有効か？～最新の薬物治療を含めて～				齋木 厚人
			高度肥満症治療の最先端　ブリッジサージェリー				笠間 和典

No.	開催学会	セッションテーマ	タイトル	日時		会場	講師
11	第 29 回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会（JASMISS） 第 16 回最小侵襲脊椎治療学会（MIST）	Digital Spine	XR 総論 : 脊椎外科におけるこの 10 年の事業と起業、DX と AI による試み　- 虚業と実業 -	21日	8:00 ～ 9:30	8	成田 渉
			アントレプレナーシップと医療機器開発事業の乖離動向				安倍 雄一郎
			デジタルスパイン：予後予測を基盤とした個別化脊椎診療に向けて				牧 聡
			脊椎手術におけるチーム医療 DX ―OpeOne 事業を通した気づき―				大谷 隼一
			誰の、何を、解決するのか ― 生成 AI 時代、脊椎外科医が持つ最強のアセットと逆算思考				告野 英利
			リアルタイム 3DCG を当たり前の世界に。				瀬尾 拡史
12	第 34 回日本腰痛学会（JSLSD） 第 7 回 BioSpine Japan 研究会	腰痛の病態ーバイオロジーの側面から	椎間板変性に伴う腰痛ー細胞死の側面から		15:00 ～ 15:50	9	大西 貴士
			脊椎椎間板における TRPV4 のオートファジーを介した恒常性維持				武岡 由樹
			椎間板性腰痛の病態から考える治療戦略 －組織再生と疼痛改善のギャップ－				玉川 翔太
			骨再生の見地からみた腰痛治療の展望				江川 聡
			The Wakayama Spine Study が切り拓く腰痛の新視点：spinal phenotype から functional resilience へ				寺口 真年

特別記念講演

No.	開催学会	セッションテーマ	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N 必須分野	認定番号 26-1108
1	第 60 回日本側彎症学会（JSS） 第 35 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会（JSIS）	成人脊柱変形と特発性側彎症の現状と未来	思春期特発性側弯症に対する手術時期を再考する―QOL 改善と予防的治療の観点から―	20日	8:00 ～ 9:00	2	大場 悠己	N, SS	7, 13	034
			思春期特発性側弯症に対する手術時期を再考する ―適切な時期を逃さないために―				大場 哲郎			

第 60 回日本側彎症学会（JSS）

会長講演

No.	タイトル	日時		会場	講師
1	もし患者さんが自分の子だったら― 私が追い求めてきた小児側弯症手術戦略 ―	19 日	9:00 ～ 9:30	1	髙橋 淳

山田井上メモリアルレクチャー

No.	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N 必須分野	認定番号 26-1108
1	35 年間の神戸における私の側弯診療を振り返って ―特にやり残したこと、伝え残したことを中心に―	19日	10:50 ～ 11:50	1	宇野 耕吉	N, SS	7	004

特別講演

No.	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N 必須分野	認定番号 26-1108
1	遺伝性・先天性疾患のある人たちへの側弯症診療：遺伝科の関わり	19日	9:40 ～ 10:40	1	古庄 知己	N, SS	1, 7	002

特別企画

No.	セッションテーマ	タイトル	日時		会場	講師
1	チームで挑む重症心身障害児側弯症診療	一人では挑めない NMS 診療―重症例を契機としたチーム医療への転換―	19日	14:20 ～ 15:50	10	大場 悠己
		側弯症が子どもの未来を曇らせないために ～小児神経科医の役割～				本林 光雄
		重症心身障害児に対する側彎症手術の麻酔管理				市野 隆
		患者・家族の思いをつなぐ手術室看護師の役割 ―重症心身障害児側弯症手術における多職種連携―				世川 奈美
		重症心身障がい児の側弯症手術における療法士の役割				佐藤 紗弥香
		重症心身障害児における側彎症手術後の機能変化～セラピスト・小児科医の視点から～				原田 由紀子
		重症心身障碍児の側弯症治療：多職種で支えるチームビルディングとリーダーシップ				酒井 典子

シンポジウム

No.	セッションテーマ	タイトル	日時		会場	講師
1	ロボット支援下脊椎手術	ロボット支援脊椎手術の現状と将来展望：臨床応用の最前線から	19日	14:20 ～ 15:50	2	生熊 久敬
		ロボット支援下椎弓根スクリュー挿入の精度と安全性 ―Cirq2 導入 250 例からみた有用性とピットフォール―				小林 和克
		ロボット支援下側弯症手術のラーニングカーブをいかに克服するか ― Hybrid 手術室での側弯症手術 148 例から得られた知見 ―				福澤 拓馬
		低侵襲脊椎手術におけるロボット技術の役割：適応と限界を考える				眞鍋 裕昭
		ロボット支援脊椎手術の教育的価値とラーニングカーブ				牧野 紘士
2	思春期特発性側弯症の固定範囲選択	Short fusion strategy の適応と限界：最小固定で最大効果を得るために	20日	8:55 ～ 10:25	3	鈴木 悟士
		C7-LEV Line を用いた Lenke 5・6 カーブの固定範囲決定―腰椎選択的固定の適応を再考する―				福澤 拓馬
		術後合併症を回避するための固定範囲選択：固定範囲によるトラブルをいかに防ぐか				坂野 友啓
		固定範囲選択が長期成績に与える影響：10 年後を見据えた意思決定				大橋 正幸
		難治例における固定範囲選択：定型戦略が通用しない症例へのアプローチ				鈴木 哲平
3	脊椎再建手術と骨移植術	脊椎再建手術における骨移植戦略		10:35 ～ 12:05		井野 正剛
		思春期特発性側弯症に対する後方矯正固定術後の癒合不全に関する術後 2 年の CT 評価：好発位置と臨床転帰				大場 悠己
		成人脊柱変形に対する脊椎再建手術―病態に応じた再建アプローチと骨移植―				大和 雄
		自然骨癒合から考える成人脊柱変形手術 ― CMIS の新たな価値 ―				石原 昌幸
		脊椎再建手術における骨移植の新展開 ― 人工骨・PRP の可能性 ―				野口 裕史

第 35 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会（JSIS）

会長講演

No.	タイトル	日時		会場	講師
1	骨粗鬆症性脊椎疾患に対する脊椎インストルメンテーション手術の取り組み	20 日	8:30 ～ 9:00	1	波呂 浩孝

Kumu-Cloward Lecture

No.	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N 必須分野	認定番号 26-1108
1	これからの脊椎インストゥルメンテーション手術のあり方を考える－わが国の医療経済・医療政策の観点から	19日	14:20 ～ 15:20	1	種市 洋	N, SS	7	023

特別講演

No.	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N 必須分野	認定番号 26-1108
1	When Fusion Meets Aging: Spinal Derformity Surgical Outcomes Across the Lifespan	19日	10:50 ～ 11:50	2	Ferran Pellisé	N, SS	7	005
2	渋沢栄一の「論語と算盤」で未来を拓く	20日	10:10 ～ 11:10		渋澤 健	N	14ー5	043

招待講演

No.	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N 必須分野	認定番号 26-1108
1	iPS 細胞を用いた脊髄再生医療	19日	15:30 ～ 16:30	1	中村 雅也	N, SS	1, 7	026
2	脊椎脊髄外科における信頼性の構築を考える	20日	9:05 ～ 10:05	2	大川 淳	N, SS	7	039
3	どのようにチームビルディングをすべきか ―リーダーの心得と先人の言葉―		14:35 ～ 15:45		松山 幸弘	N, SS	7	066
	メスの先にある安心：栄養・痛み・せん妄・眠りで支える脊椎インストゥルメンテーション手術				鉄永 倫子			

教育研修講演

No.	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N 必須分野	認定番号 26-1108
1	米国の脊椎外科の現状と海外研修のすすめ	20日	10:20 ～ 11:20	7	永田 向生	N, SS	7	044

シンポジウム

No.	セッションテーマ	タイトル	日時		会場	講師
1	安心安全な脊椎インストゥルメンテーション手術を達成するための手術支援	重大事故の経験から学ぶ：脊椎インストゥルメンテーション手術における真の「手術支援」と組織的アプローチ	19 日	9:00 ～ 10:40	2	小谷 俊明
		AI 時代の脊椎インストゥルメンテーション手術支援：術前診断・予後予測・術前知識支援				牧 聡
		頚椎前方手術のリスクを“見える化”し、安全なインストゥルメント手術につなげる　―支援技術を活かす手術戦略と多職種連携―				平井 高志
		フィジカル AI と画像認識型制御技術の医療応用の現状と実際				安倍 雄一郎
		安心安全な脊椎インストゥルメンテーション手術を目指して ―RASS とインカムによる人の手・耳・判断の拡張				金村 徳相
		手術支援技術は安全をどこまで担保するか―JSIS-DB からみた残存リスクと安全管理の設計				荒神 裕之

ビデオシンポジウム

No.	タイトル	日時		会場	講師
1	医原性血管損傷に対する脊椎外科手術に必要な外科的および血管内治療戦略	20日	17:15 ～ 18:15	2	横山 泰孝
	脊髄腫瘍手術における脊椎内固定術の適応と有用性				高見 俊宏

第 34 回日本腰痛学会（JSLSD）

会長講演

No.	タイトル	日時		会場	講師
1	腰痛の病態を究める	20日	8:00 ～ 8:30	1	西田 康太郎

文化講演

No.	タイトル	日時		会場	講師
1	挑戦	21日	10:50 ～ 11:50	1	照屋 年之

特別講演

No.	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N 必須分野	認定番号 26-1108
1	椎間板と共に歩んだ 40 年　人生に無駄なことは一つもない	20日	9:50 ～ 10:50	4	千葉 一裕	N, SS	1, 7	042
2	頚髄・脊髄損傷者のスポーツ医学と神経障害性慢性疼痛研究の融合		11:00 ～ 12:00	4	田島 文博	N, Re	7, 13	045

招待講演

No.	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N 必須分野	認定番号 26-1108
1	Exploring the Potential of Intervertebral Disc Rejuvenation: A Focus on Inflammation and Angiogenesis	20日	14:55 ～ 15:55	5	Joo Han Kim	N, SS	1, 7	068
	The posterior approach for the cervical spondylotic myelopathy; laminoplasty, laminectomy with fixation, and laminoplasty with fixation							

教育研修講演

No.	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N 必須分野	認定番号 26-1108
1	「医師のやりがい」を究める ―インテグラル理論から紐解く医師組織の現状と未来―	20日	8:40 ～ 9:40	4	星野 雅俊	N	14 － 5	038
2	腰痛の新たな病態モデル―疼痛機序、間質還流、多裂筋粘弾性を統合した理解とハイドロリリースの可能性―	21日	8:15 ～ 9:15	2	皆川 洋至	N, SS	7, 8	085
3	仙腸関節ひとすじ 30 年～徹すれば歴史は変わる		9:30 ～ 10:30		村上 栄一	N, SS	7, 11	088
4	腰痛の病態と治療的アプローチ ―最新の知見を含めて―		13:10 ～ 14:10	6	川口 善治	N, SS	7	103

特別企画

No.	セッションテーマ	タイトル	日時		会場	講師
1	超音波エコーが切り開く腰痛の病態と治療	運動器エコーで迫る腰痛の Pain Generator ～病態評価から運動療法～	20日	9:05 ～ 10:35	8	松本 裕司
		超音波で腰痛を診る、そして治す —神経の可視化から標的治療へ—				片山 裕貴
		腰痛に対するエコーの活用法 身体評価からエコーガイド下注射、手術まで				佐々木 克幸
		超音波でみる難治性腰臀部痛の原因と治療				高田 知史
		画像は痛みを語らない —超音波と診断的注射が導く腰痛診療—				石元 優々
2	医師と理学療法士が導く腰痛の病態と診療の最適解	腰痛をみる医師の視点，メディカルスタッフの視点 —腰痛診療における多職種連携の重要性—		10:40 ～ 12:10		酒井 紀典
		腰部脊柱管狭窄症における理学療法士と医師の連携				峯玉 賢和
		腰痛の病態を日常生活から捉える －ウェアラブル端末による可視化の可能性－				井上 雅寛
		アスリートにおける筋由来の腰痛の病態と診療 - 医師と理学療法士の連携による競技復帰支援 -				加藤 欽志
		骨粗鬆症性椎体骨折に対する BKP・テリパラチド地域連携パスとリエゾンサービスの有用性 —二次骨折予防と二人主治医制の推進—				加藤木 丈英
		骨粗鬆症性椎体骨折患者に対する理学療法の有無が椎体圧潰に与える影響				成田 崇矢

第 29 回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会（JASMISS）

会長講演

No.	タイトル	日時		会場	講師
1	我が国における脊椎内視鏡手術と低侵襲脊椎手術	21日	10:00 ～ 10:30	1	中川 幸洋

特別講演

No.	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N 必須分野	認定番号 26-1108
1	Full endoscopic spinal surgery under the water ~ 水を味方に ~	19日	10:50 ～ 11:50	9	西村 泰彦	N, SS	7	006
2	様々な鏡視下手術から何を選択するか？ Head up surgery の勧め。	20日	11:05 ～ 12:05		尾原 裕康	N, SS	7	046
	これからの UBE				梅林 猛			
3	脊椎内視鏡下手術 (MED) の歴史と発展	21日	13:10 ～ 14:10	1	吉田 宗人	N, SS	7	102
4	低侵襲脊椎治療の進化 —ベネフィット、リスク、イノベーションの最適化—		9:10 ～ 10:10	3	石井 賢	N, SS	7, 13	086

招待講演

No.	セッションテーマ	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N 必須分野	認定番号 26-1108
1		Axial low back pain and how to manage with endoscope	19日	12:00 ～ 13:00	9	Saran Pairuchvej	N, SS	7	007
		腰部変性疾患に対する内視鏡下椎弓形成術 Assisted Full-Endoscopic Spine Surgery (AFESS) とダブルケージ内視鏡下腰椎椎体間固定術の有用性				山屋 誠司			
2		Taking kyphoplasty to another level. Appropriate practice and the next generation of balloon catheters	20日	12:15 ～ 13:15	10	Jens A. Richolt	N, SS	4, 7	057
3		Unilateral Biportal Endoscopy (UBE): From Fundamentals to Advanced Applications	21日	10:20 ～ 11:20	3	Cheol-Wung Park	N, SS	7	089

シンポジウム

No.	セッションテーマ	タイトル	日時		会場	講師
1	脊椎内視鏡：病態別の適応と成績、脊椎内視鏡使い分け	内視鏡の特徴と病態を考慮した手術選択—できる限り内視鏡で手術を行う—	19日	9:00 ～ 10:20	9	南部 浩史
		脊椎内視鏡手術 MED, FESS, UBE の病態別の適応と使い分け— UBE の適応は MED と極めて類似している—				山屋 誠司
		腰椎椎間板ヘルニアに対する MED と FESS-TF 手術の比較				柴山 元英
		腰椎小侵襲除圧術における機器間の共通点と相違点、使い分け				土屋 邦喜
		Pathology-specific Full-endoscopic decompression for Degenerative lumbar scoliosis				Saran Pairuchvej

No.	セッションテーマ	タイトル	日時		会場	講師
2	脊椎内視鏡：合併症対策	MED の合併症対策―硬膜損傷・神経損傷を中心に―	19日	13:10 ～ 14:40	9	石部 達也
		TF-FESS における合併症回避のための手術手技の工夫 ―ヘルニア遺残と神経障害を防ぐために―				森本 雅俊
		FESS における合併症に対する 3 つの対処法				清水 純人
		脊椎内視鏡手術における術式特異的合併症とその対策				小野 孝一郎
		脊椎内視鏡手術 UBE の安全な導入に向けた良好な視野確保と合併症対策				藤田 涼
3	脊椎内視鏡：症例から学ぶ　教訓的症例の提示と考察	内視鏡下神経除圧術における腰仙部神経根奇形と Diffusion MR neurography を用いた術前リスク評価		14:50 ～ 16:20		延與 良夫
		Modic 変化の内視鏡手術から見た、Painful Modic の Mechanism				添田 沙織
		MED/MEL 手技を活かした UBE のピットフォール対策―レンズ損傷を防ぐドリル把持とスコープ深度の要点―				河野 通快
		脊椎内視鏡手術における硬膜損傷と術後血腫 ―どこまで内視鏡下に対応できるか―				山口 雄士
		頸椎 FESS 手術のピットフォール ― 自験例からの教訓				向畑 智仁
4	脊椎内視鏡　手術器械の工夫	MED 手術機器の工夫、開発	20日	8:15 ～ 9:45		柴山 元英
		われわれが愛用している新規脊椎内視鏡システム “SYNCHA®”				岡田 基宏
		脊椎内視鏡手術における超音波手術器 (Sonopet iQ) の有用性				上田 康博
		脊椎内視鏡手術 UBE における安全性と治療成績向上のための 8 つの手術器機の工夫				山屋 誠司
		持続可能な脊椎内視鏡手術を目指した手術器械の工夫と特許取得へのプロセス				金子 剛士
5	OVF に対する vertbral augumentation：介入のタイミングと成績	骨粗鬆症性椎体圧迫骨折に対する受傷時 CT 損傷型に基づく BKP の適応と超早期介入の重要性		8:55 ～ 10:25	10	寺口 真年
		骨粗鬆症性椎体骨折に対する vertebral augmentation の至適介入時期 ― 疼痛遷延と圧潰進行の観点から				岩前 真由
		OVF に対する BKP の役割―疼痛・ADL・椎体形状からみた治療目的―				青山 真吾
		骨粗鬆症性椎体骨折の保存療法 ― どこまで非荷重で粘り、いつ手術に切り替えるか：MRI・動態 X 線・CT による予後層別化と 2 週間非荷重の役割 ―				辰村 正紀
		胸腰椎移行部 OVF に対する早期 BKP 介入				山田 淳一
6	OVF に対する vertbral augumentation：合併症、続発骨折、再手術を防ぐ工夫と対策	椎体から心臓へ - セメント片によって生じた予期せぬ合併症の経験 -		10:35 ～ 12:05		高野 梨佳
		経皮的椎体形成術におけるセメント血管内漏出の現状と対策：下大静脈内に漏出した自験例の経過と文献的考察				古梅 祐
		BKP 術後隣接椎体骨折を防ぐための工夫 ―高リスク症例に対する BKP 時隣接椎体 PMMA 補強併用の有用性―				大山 翔一朗
		OVF に対する BKP 後の続発骨折―椎体骨折治療から骨粗鬆症管理へ―				山﨑 顕二
		骨粗鬆症性椎体骨折に対する VBS の光と影 ―合併症を防ぐための適応と手技―				槇尾 智
7	TSCP：適応と成績	安全性と治療効果の向上を目指した Endo-Tech TSCP の初期経験	21日	10:20 ～ 11:50	11	船尾 陽生
		当院における経仙骨的脊柱管形成術の治療成績				渡辺 聖也
		経仙骨的硬膜外腔癒着剥離術（TSCP）の適応をどう見極めるか ―硬膜嚢面積・椎間不安定性から機能的評価まで				有村 大吾
		経仙骨的脊柱管形成術（TSCP）の適応と作用機序の検討―当院の治療経験と低侵襲治療戦略の試み―				山本 悠太
		経仙骨的脊柱管形成術（TSCP）における術中 Radiculography 分類は予後予測に寄与するか				森戸 伸治
8	低侵襲固定術（内視鏡、MISTLIF、miniopen TLIF、各種 MIS 手技の成績、利点欠点）	腰椎椎体間固定術の低侵襲化と理想を目指した UBE Extraforaminal LIF		15:30 ～ 17:00		伊藤 研悠
		Trans-facet microendoscopic lumbar interbody fusion（TF-MELIF）の有用性				松森 裕昭
		FE-KLIF の手術手技　利点と課題克服への工夫				井ノ口 崇
		PPS 手技を併用する Modified Mini-open PLIF				太地 良
		Open PLIF から MIS-TLIF への道のりと工夫				吉岡 克人

第 16 回最小侵襲脊椎治療学会（MIST）

会長講演

No.	タイトル	日時		会場	講師
1	忘己利他の精神で支える地域医療の砦 - 学閥を超えた交流 -	21日	9:30 ～ 10:00	1	成田 渉

文化講演

No.	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N 必須分野	認定番号 26-1108
1	ボクシング世界王者がチャンピオン井上尚弥を育てるまで	20日	13:25 ～ 14:25	1	大橋 秀行	N	14-5	065

招待講演

No.	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N 必須分野	認定番号 26-1108
1	The Use of Multimodel AI and the Role of Paraspinal Muscle Fatty Infiltration in Predicting Outcomes for Lumbar Endoscopic Spinal Fusion	21日	13:10 ～ 14:10	7	Meng-Huang Wu	N, SS	1, 7	101

シンポジウム

No.	セッションテーマ	タイトル	日時		会場	講師
1	地域医療とキャリアを考える	医師が地域に残る条件 ― 自治医科大学卒の脊椎外科医が示す「残りたくなる出口」	21日	15:30 ～ 17:00	3	成田 渉
		迷彩服を着た整形外科医だからこその歩み				松川 啓太朗
		地域・僻地医療の義務年限がある若手医師が脊椎外科医になるために―「忘己利他」は持続可能か？―				山屋 誠司
		地域民間病院における脊椎手術チームビルディングと脊椎外科医のキャリア構築				寺山 星
		地域医療とキャリアを考える―地域医療に関わって見えてきたこと―				佐々木 寛二
		地域を支えるオンライン診療の社会実装：北海道での実証的取り組み				遠藤 努
2	PPS の次の応用（外傷・腫瘍）	転移性脊椎腫瘍における MIST（Minimally Invasive Spinal Treatment）の果たす役割と可能性		10:20 ～ 11:50	7	中西 一夫
		思春期特発性側弯症に対する My Spine Guide と PPS を併用した低侵襲後方矯正固定術				田上 敦士
		胸腰椎損傷に対する Monoaxial screw を用いた経皮的整復固定				奥田 哲教
		胸腰椎破裂骨折において PPS でアライメントを矯正する ― Sagittal Adjusting Screw による経皮的後方固定術 ―				三宅 央哲
		脊椎インプラントを用いた 2 種類の低侵襲骨盤輪骨折手術 – 当院での治療成績 –				森田 卓也

ビデオシンポジウム

No.	セッションテーマ	タイトル	日時		会場	講師
1	頸椎椎弓形成術を再考する	後方軟部組織温存のための外視鏡下片開き式頚椎椎弓形成術と内視鏡下頚椎椎弓形成術の工夫	21日	13:50 ～ 15:20	4	山屋 誠司
		整形外科クリニックにおける 3cm 小皮切の低侵襲片開き式頚椎椎弓形成術のメリット				川口 慎治
		低侵襲な片開き式頚椎椎弓形成術 ―後方組織温存と術後早期回復を目指して―				槇尾 智
		小侵襲頚椎椎弓形成術 ― 世代を越える標準化と再現性 ―				三宅 央哲
		頚椎椎弓形成術を再考する　―より低侵襲な片開き式脊柱管拡大術を目指して―				船尾 陽生

第 16 回日本成人脊柱変形学会（JSASD）

会長講演

No.	タイトル	日時		会場	講師
1	数学的考察 / 根拠と真のプロフェッショナリズムに基づく脊柱変形治療 ―積分値理論に基づく、より長持ちするより良い治療の探求―	20日	10:20 ～ 10:50	1	金子 慎二郎

レジェンドセミナー

No.	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N 必須分野	認定番号 26-1108
1	– 難治性脊椎脊髄疾患に対する治療戦略 – 脊椎外科医 35 年の経験から得た伝えたい事	20日	9:10 ～ 10:10	1	松山 幸弘	N, SS	7	041

ザ・プロフェッショナルセミナー

No.	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N必須分野	認定番号 26-1108
1	整形外科という診療科の現状と課題　ー JOA 創立 100 年を迎えてー	19日	17:30 ～ 18:30	1	河野 博隆	N	4, 5	033
2	背骨（脊椎）のお医者さんへ：背骨（脊椎）ってどこですか？		9:05 ～ 10:05	3	清水 敬親	N, SS	1, 7	001
3	脊椎外科医として大切なこと		10:25 ～ 11:25		松本 守雄	N, SS	1, 7	003
3	進化医学からみた成人期以降の脊柱変形の再建術		13:10 ～ 14:10		長谷川 和宏	N, SS	1, 7	022
4	第 1 部 / 名将から学んだこと - 星野監督や落合監督から学んだこと -、第 2 部 / 雑草から守護神と呼ばれるまで	20日	11:05 ～ 12:05	1	岩瀬 仁紀	N	14-5	047

第 13 回日本脊椎前方側方進入手術学会（JALAS）

次期会長講演

No.	タイトル	日時		会場	講師
1	頚椎前方手術の合併症と予防	21日	11:25 ～ 11:55	4	吉井 俊貴

特別講演

No.	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N必須分野	認定番号 26-1108
1	脊柱変形治療の長期成績から得られた教訓と信念 ―小児から骨粗鬆症を伴う高齢者まで―	20日	17:15 ～ 18:15	1	野原 裕	N, SS	4, 7	077

特別企画

No.	セッションテーマ	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N必須分野	認定番号 26-1108
1	Prone Transpsoas の実際	Prone Transpsoas LIF 先行実施施設からみた実践的手術手技と現時点での利点・課題	21日	12:00 ～ 13:00	4	海渡 貴司	N, SS	7	091
		腹臥位 LIF（PTP）を安全に導入するために―解剖学的知見と最新エビデンス―				松村 昭			

全部見せます前方の奥義

No.	セッションテーマ	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N必須分野	認定番号 26-1108
1	頚椎前方手術	全内視鏡下脊椎手術（FESS）による頚椎、胸椎前方非固定除圧術 (PECD,PETD)	20日	13:25 ～ 14:25	4	清水 純人	N, SS	7	059
		脊髄腫瘍・血管障害に対する頚椎前方手術				高見 俊宏			
2	胸腰椎前方手術	OLIF51 を安全に完遂するための 10 の Tips	21日	9:10 ～ 10:10		福島 成欣	N, SS	7	087
		AIS type 5 カーブに対する胸膜外後腹膜腔アプローチによる前方固定				稲見 聡			

第 7 回 BioSpine Japan 研究会

会長講演

No.	タイトル	日時		会場	講師
1	超知能 AI(ASI) と人類の命運　―ASI により研究はどうなる？―	20日	16:35 ～ 17:05	1	関 庄二

特別講演

No.	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N必須分野	認定番号 26-1108
1	Multi-pose-based convolutional neural network model for diagnosis of patients with central lumbar spinal stenosis	21日	16:00 ～ 17:00	9	Chang-Hyun Lee	N, SS	1, 7	107
	側彎症 AI 研究の現状と展望―画像解析から進行予測、画像生成 AI まで―				近藤 世範			

ランチョンセミナー

No.	セッションテーマ	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N必須分野	認定番号 26-1108
1		The Benefit of Uniplanar Screws in 3D Correction of Adolescent Idiopathic Scoliosis	19日	12:00～13:00	1	Peter O. Newton	N, SS	3, 7	008
2	困難な脊椎疾患に立ち向かう ― 治療戦略と手術環境の最適化 ―	骨粗鬆性椎体骨折を伴う成人脊柱変形の実践的ストラテジー　―実経験に基づく本音と理想―			2	中島 宏彰	N, SS	7	009
		この難しくもやり甲斐のある脊椎外科医を長く続けるために―パワーツールの有効活用―				中尾 祐介			
3	脊柱変形に対する手術治療の効果を長持ちさせる為の合併症予防対策	高齢者脊柱変形治療における全脊椎アライメント評価の重要性　～骨粗鬆症対策を中心に～		11:30～13:00	3	工藤 理史			
		成人脊柱変形手術成功のために周術期に行うべきこと－骨粗鬆症対策、栄養介入、リハビリ－				大和 雄			
		治療効果を長持ちさせる為の尿管損傷対策				飯田 尚裕			
4	転移性脊椎腫瘍の診断と治療	転移性脊椎腫瘍における手術適応のパラダイムシフト - 徳橋スコアの昔と今 -		12:00～13:00	4	松本 光司	N, SS	5, 7	010
		転移性脊椎腫瘍の局所制御を目指した複合治療				杉田 守礼			
5		仙骨・仙尾部脊索腫に対する 3 治療法の長期成績 : 単一施設 30 年間の後方視的検討			5	平瀬 貴視	N, SS	5, 7	011
6		腰椎椎間板ヘルニアの治療と神経障害性疼痛 ～新しいエビデンスの創出～			6	鈴木 秀典	N, SS	7, 8	012
7		あなたの椎弓形成術はもっと速くなる ―片開き式頚椎椎弓形成術を速く，安全に，美しく行うコツ―			7	原田 智久	N, SS	7	013
8	側弯症手術における止血の極意	脊柱変形矯正術を低侵襲に切り抜ける―手術戦略と確実な止血の工夫			8	平井 高志	N, SS	7	014
		Patient Blood Management に基づいた側弯症手術周術期出血対策 - チームで挑む安全な側弯症手術 -				辻 太一			
9		脊髄損傷治療の新たなステージ　―急性期治療から脊髄再生医療まで―			10	石井 桂輔	N, SS	2, 7	015
10	脊椎外科医が考える脊髄刺激療法の現在地と可能性	脊椎外科医の立場から考える脊髄刺激療法 ― 適応と導入時期をめぐって ―			11	加藤 裕幸	N, SS	7	016
		脊椎外科医だからこそできる脊髄刺激療法 - 導入のコツと症例にみる実践ポイント –				小林 俊介			
11		脊柱変形手術の技術革新 ― AI・ロボティクスが拓く再現性の高い変形矯正―		13:10～14:10	1	海渡 貴司	N, SS	7	017
12	矯正 BOX と新しい側弯矯正手術方法	人工知能を用いた特発性側弯症患者の脊椎パラメータ計測とその活用			2	藤森 孝人	N, SS	7	018
		“新しい矯正システム”と“矯正 BOX”を用いた後方矯正固定術と胸腔鏡アシスト小切開前方矯正手術　–ハイブリッド脊椎手術室 44,102 本とロボット椎骨スクリュー 5,443 本挿入–				江原 宗平			
13		骨粗鬆症性椎体骨折治療の最近のトピックス：低侵襲手術から矯正固定術まで			4	高橋 真治	N, SS	4, 7	019
14	エキスパートが考える真の Patient Blood Management ―新時代の Spine Surgery と心臓血管外科に学ぶ「思考」と「具体的プラクティス」―	心臓血管外科医から見た Patient Blood Management と明日から使える止血マネジメントの原理原則			6	岩倉 具宏	N, SS	7	020
		勝てる Spine Surgery をつくる Patient Blood Management：良いディフェンスから手術成功のゴールへ				中島 宏彰			
15		側弯症センターが目指す特発性側弯症治療 - 集学的治療と手術戦略 -			8	松村 昭	N, SS	7	021
16		骨粗鬆症性椎体骨折の治療方針 Update	20日	11:15～12:15	2	猪瀬 弘之	N, SS	4, 7	048
17		日本から世界に発信する再生医療　－脊椎脊髄領域における現状と課題、今後の展望－		12:15～13:15	1	中村 雅也	N, SS	1, 7	049
18		成人脊柱変形手術　- 患者適合型 UNiD ロッドの使用経験 -		12:20～13:20	2	吉井 俊貴	N, SS	7	058

No.	セッションテーマ	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N 必須分野	認定番号 26-1108
19		脊椎固定術の成功を支える骨代謝マネジメント ―最新の臨床知見と基礎研究から描く次世代治療戦略―	20日	12:15 ～ 13:15	3	海渡 貴司	N, SS	4, 7	050
20		椎体置換を極める、そして椎体置換を避ける ―骨粗鬆症性椎体骨折に対する前方支柱再建の新たな戦略―			4	石原 昌幸	N, SS	4, 7	051
21		エビデンスと実運用から考えるコンドリアーゼの現在地			5	玉井 孝司	N, SS	7	052
22		腰痛治療に関する最近の話題　～脊椎外科診療における保存治療の役割～			6	鈴木 秀典	N, SS	7	053
23		脊椎手術におけるチーム医療 DX ―DX/AIが取り戻す外科チームの時間と価値―			7	大谷 隼一	N, SS	7	054
24		骨粗鬆症性椎体骨折治療戦略　―早期判断と骨折状態に応じた手術戦略―			8	槇尾 智	N, SS	4, 7	055
25		Treatment method with One Way Self-Expanding Rods for Early Onset Scoliosis patients			11	Lotfi Miladi	N, SS	3, 7	056
26		成人脊柱変形に対する矯正固定術におけるインプラント関連合併症の発生リスクの予測と最適化		13:25 ～ 14:25	2	八木 満	N, SS	7	060
27	病態を究め、適応を見極める ～骨脆弱性脊椎疾患における Cement augmented pedicle screw 戦略～	成績不良症例から再考する骨粗鬆症性椎体骨折に対する Fenestrated Screw の適応			3	寺山 星	N, SS	4, 7	061
		骨粗鬆症脊椎固定の新時代―セメント注入型椎弓根スクリューのリスク層別化と未来への展望―				篠原 光			
28	脊髄刺激療法で挑む難治性腰下肢痛 ― 治療成功の鍵を探る ―	変性側弯症に伴う難治性腰下肢痛に対する脊髄刺激療法―良好な治療成績につなげる患者選択と共同意思決定―			6	古川 満	N, SS	7, 8	062
		地方脊椎外科医が実践する脊髄刺激療法 ― 次世代刺激から安全な手技、継続できるチーム医療まで ―				関屋 辰洋			
29		ALIF（Anterior Lumbar Interbody Fusion）　～コンセプトと手技の実際～			7	工藤 理史	N, SS	7	063
30		椎体骨折治療を起点とした Fracture Liaison Service 展開のすすめ ―早期骨形成促進薬導入の意義―			9	上野 正喜	N, SS	4, 7	064
31	成人脊柱変形手術におけるモジュラー型ペディクルスクリューの使用経験	成人脊柱変形手術におけるモジュラー型ペディクルスクリューシステムの実践―デュアルヘッドを活用したコンストラクトデザイン―	21日	12:00 ～ 13:00	1	船山 徹	N, SS	7	092
		成人脊柱変形手術におけるモジュラー型ペディクルスクリューの使用経験				石川 慶紀			
32	患者治療満足度を考慮した神経障害性疼痛治療を考える	NDB オープンデータから見えてきた神経障害性疼痛のトータルマネジメントと薬剤最適化の重要性			2	鉄永 倫子	N, SS	7, 8	093
		腰部脊柱管狭窄症における "痛み" へのアプローチとミロガバリンの位置づけ －エビデンス×ベネフィット・リスクで考える最適処方－				二階堂 琢也			
33	骨粗鬆症性椎体骨折に対する VBA の役割を再考する ～エビデンスと経験の融合から導く未来～	わかってきた Vertebral Body Stenting System　―VBS を使いこなす！―			3	竹内 宏仁	N, SS	4, 7	094
		骨粗鬆症性椎体骨折に対する早期介入と手術戦略―VBS をどう使い分けるか―				槇尾 智			
34		術中 CT ナビゲーションがもたらす脊椎手術の変化			5	髙橋 洋平	N, SS	7	095
35	脊椎内視鏡手術の最前線	本邦独自の脊椎内視鏡技術と Unilateral Biportal Endoscopy (UBE) の融合―安全・確実な多椎間除圧および内視鏡下腰椎椎体間固定術の新展開―			7	山屋 誠司	N, SS	7	096
		モノポータル全内視鏡手技によるヘルニア摘出術 ~ 除圧術 ~ 固定術（PETLIF）のメリット・デメリット				長濱 賢			

No.	セッションテーマ	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N 必須分野	認定番号 26-1108
36	monoportal という選択肢を得た Unilateral Biportal Endoscopy — 症例に合わせた低侵襲アプローチの実際	monoportal という選択肢を得た Unilateral Biportal Endoscopy — 症例に合わせた低侵襲アプローチの実際	21日	12:00 ～ 13:00	8	水野 哲太郎			
		UBE はどこまで進化できるのか ― Standard Surgery から Targeted Surgery、そして頚椎・胸椎病変へ				隈元 真志			
37		腰痛診療 Up to Date 2026―各国ガイドラインの視点と日本の現在地			9	谷島 伸二	N, SS	7	097
38	SCS をどう始め、どう続けるか ― 脊椎外科医のための SCS 治療の実臨床 ―	SCS をはじめて見えてきたこと ― 脊椎外科医が実臨床で感じたポイント ―			10	北原 貴之	N, SS	7	098
		SCS 治療を続けていく中で見えてきたこと ―臨床経験からの考察―				森下 和明			
39		UBE-ELIF 導入期における課題と克服		13:10 ～ 14:10	3	山岡 慎大朗	N, SS	7	099
40	頚椎後方手術	頚椎椎弓形成術の温故知新 ― 安全性と再現性を高める手術戦略と最新の固定技術 ―			11	海渡 貴司	N, SS	7	100
		頚椎後方除圧術の発展―選択的部分椎弓切除術から必要十分な除圧を考える				渡邉 和之			

アフタヌーンセミナー

No.	セッションテーマ	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N 必須分野	認定番号 26-1108
1		脊柱変形矯正手術における Patient-Specific Rod の有用性―計画主導型脊椎手術のコンセプト―	19日	16:00 ～ 17:00	2	檜山 明彦	N, SS	7	029
2	国内における脊椎周術期の Bone Health Optimization（BHO）の現状	Bone Health Optimization から学ぶ脊椎手術の現状と課題		15:25 ～ 16:25	4	井上 玄	N, SS	4, 7	025
		脊椎周術期の骨管理を標準化する―最新エビデンスに基づく日本版ナラティブレビューとその実装―				酒井 大輔			
3	成人脊柱変形治療の現在地 ― アウトカム向上を目指した治療戦略とワークフロー	成人脊椎変形の中期術後の経過：当院での現在の治療戦略と課題		16:30 ～ 17:30		鈴木 哲平	N, SS	4, 7	030
		成人脊柱変形手術における Surgical Workflow Innovation ― Navigation・Power Tool・Rod・Implant をどう使い分けるか ―				加藤 壯			
4		最新のテクノロジーを駆使した安全性を高める脊椎手術の工夫と術後対策		15:30 ～ 16:30	5	川口 善治	N, SS	7	027
5		超広角スコープを用いた Unilateral Biportal Endoscopic Spine Surgery の実践		14:20 ～ 15:20	6	寺井 秀富	N, SS	7	024
6		骨粗鬆症性椎体骨折や強直脊椎を伴った高齢者脊柱変形の外科的治療戦略		15:40 ～ 16:40	8	野尻 英俊	N, SS	4, 7	028
7		脊椎固定術における骨移植戦略―パティ状人工骨の臨床応用―		17:10 ～ 18:10	9	檜山 明彦	N, SS	1, 7	031
8		新規骨移植代替材としての自己集合性ペプチドゲルの有用性―基礎研究から臨床応用まで	20日	14:35 ～ 15:35	3	伊藤 定之	N, SS	1, 7	067
9		脊椎矢状面アライメント再建の進化 ―歴史的変遷、最新コンセプト、そして再現性向上への挑戦―		16:05 ～ 17:05	4	竹本 充	N, SS	7	074
10		成人脊柱変形における遠位腰椎前弯再建の意義と手術戦略			5	姜 顕炅	N, SS	7	075
11		腰痛に対する一次～三次予防を見据えた包括的アプローチ ―職域・地域・医療をつなぐ予防ピラミッドの構築へ向けて―			6	松平 浩	N, Re	7, 13	076
12		頸椎椎弓形成術の変遷～温故知新、低侵襲への挑戦～		14:55 ～ 15:55	7	神谷 繁	N, SS	7	069
13	小侵襲の頸椎椎弓形成	外視鏡が拓く 3 cm 皮切の低侵襲頚椎椎弓形成術 ExLAP ― OPERA の理念から XR 融合まで ―			8	山根 健太郎	N, SS	7	070
14		Less Invasive, More Challenges ― 骨粗鬆症性椎体骨折に対する MIS の成果と、新天地での挑戦 ―		16:05 ～ 17:05		原田 智久	N, SS	7	073
15		骨形成促進薬と低侵襲手術が拓く骨粗鬆症性椎体骨折治療の未来		14:55 ～ 15:55	9	圓尾 圭史	N, SS	4, 7	071

No.	セッションテーマ	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N 必須分野	認定番号 26-1108
16	AIS 変形矯正の最適解を探る ― 三次元矯正と手術戦略 ―	胸椎 Adolescent Idiopathic Scoliosis に対する 3 次元的矯正	20日	16:05 ～ 17:05	10	大橋 正幸	N, SS	7	072
		Lenke Type 6 Adolescent Idiopathic Scoliosis における変形矯正手術―固定範囲、三次元矯正、全脊柱アライメントのゴール―				渡辺 航太			
17		セメント注入型椎弓根スクリュー（CAPS）を安全に使いこなすために　―適応から合併症対策まで―	21日	14:20 ～ 15:20	3	圓尾 圭史	N, SS	7	104
18		脊椎固定術：Bone Health Optimization してますか？			7	吉井 俊貴	N, SS	4, 7	105
19	内視鏡下脊椎固定術の最前線	経皮的全内視鏡下経椎間孔的椎体間固定術（PETLIF）の手技の実際 ―3 カメラ同時映像でポイント解説―			8	小野 孝一郎	N, SS	7	106
		小侵襲手術を行う環境				佐々木 寛二			

スポンサードセミナー

No.	セッションテーマ	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N 必須分野	認定番号 26-1108
1	脊柱変形に対する手術治療の効果を長持ちさせる為の術式の工夫	脊柱変形手術の長期成績を最大化するための私のこだわりと工夫	19日	15:50 ～ 17:20	3	谷口 優樹			
		手術の効果や満足度を考慮した成人脊柱変形手術				細金 直文			
		頭尾側の junctional problem を予防することで成人脊柱変形手術の治療効果を長持ちさせる為の私の工夫				渡辺 航太			
		成人脊柱変形矯正固定術の治療効果を長持ちさせるための工夫				福田 健太郎			
2	これだけは知っておきたい術中神経モニタリング（IONM）：脊椎脊髄手術で押さえるべき基礎と実践	Tc-MEP を中心としたマルチモダリティ神経モニタリング：波形低下時の考え方と対処法		17:30 ～ 18:30		重松 英樹	N, SS	1, 7	032
		術中神経モニタリング～実践編～				齋藤 亘			
3	骨粗鬆症性椎体骨折治療の最前線	リアルワールドデータが浮き彫りにする骨粗鬆症性椎体骨折診療の現状と治療ギャップ		15:40 ～ 17:10	3	中前 稔生			
		骨粗鬆症性椎体骨折に対する保存治療と限界				猪瀬 弘之			
		骨粗鬆症性椎体骨折における椎体形成術の最適な位置付けとは				高橋 真治			
		骨粗鬆症性椎体骨折に対する脊椎固定術（矯正固定術まで）				森平 泰			
		骨粗鬆症治療薬の役割 ―保存治療から周術期まで、椎体骨折の連鎖を断つ―				加藤 裕幸			
4		頚椎前方除圧固定術の手術戦略と新規材料ケージ		17:15 ～ 18:15	4	坂井 顕一郎	N, SS	7	078
5		周術期支援センター TOPS による脊椎手術の術後回復促進～アセトアミノフェン CP 導入の実践と成果～			5	谷口 英喜	N, SS	7	079
6		取り切れない痛みにどう向き合うか ― 脊椎外科の実際と神経障害性疼痛の薬物療法			6	柳澤 義和	N, SS	7, 8	080
7		Evolution of Minimally Invasive Cervical Pedicle Screw Fixation: From Feasibility to Clinical Validation	20日	9:05 ～ 10:05	7	Christian Blume	N, SS	7	040
8	成人脊柱変形における矯正固定術の手技について―冠状面 / 矢状面の視点から―	当院における成人脊柱変形に対する Posterior First Strategy ― 多角的アライメント評価・病態解析に基づく病態別手術戦略 ―		16:05 ～ 17:35		大里 倫之			
		成人脊柱変形の冠状面矯正戦略　―Obeid 分類に基づく術式選択と Lumbosacral Fractional Curve の制御―				宮崎 正志			
9	次世代の脊椎内視鏡 UBE/BESS －従来手技との比較と将来の展望	UBE（Unilateral Biportal Endoscopy）の現状と展望―除圧術から固定術まで―		16:45 ～ 18:15	9	柳澤 和芳			
		脊椎内視鏡未経験医における UBE 導入の経緯と初期経験からの課題と対策				幸 博和			
		MED から UBE への切り替えから見えてきた脊椎内視鏡手術の今後の可能性				平井 志馬			
		UBE を一から始めたい未経験術者の壁を取り除く				三宅 央哲			

モーニングセミナー

No.	セッションテーマ	タイトル	日時		会場	講師	単位種別	N必須分野	認定番号 26-1108
1		椎間板変性の病態からみた腰痛、ロコモティブシンドロームと成人脊柱変形	20日	8:00～9:00	8	由留部 崇	N, SS	1, 7	035
2		Unilateral Bi-portal Endoscopy だからこそ可能な腰椎除圧 ― 2皮切のデメリットを上回る利点			11	岩井 宏樹	N, SS	7	036
3	脊椎最小侵襲手術における硬膜閉鎖・再生戦略～コラーゲンマトリックスがもたらす基礎的エビデンスと臨床手技の実際～	脊椎脊髄手術における髄液漏への対応を考える - 硬膜補修材の基礎的機序と臨床成績 -			12	冨永 博之	N, SS	7	037
		脊椎手術における硬膜修復の実際 - 予防・術中対応のポイントとコラーゲンマトリックスを用いた被覆手技 -				檜山 明彦			
4	脊椎全内視鏡下固定術の最前線 ― Expert が語る戦略と実装―	経皮内視鏡下経椎間孔腰椎椎体間固定術（PETLIF）の適応と導入 ―臨床成績と経営的視点から―	21日	8:00～9:00	3	小野 孝一郎	N, SS	7	081
		低侵襲を越える UBE 腰椎椎体間固定術				吉水 隆貴			
5		安全な脊椎脊髄手術を目指した治療戦略 ―合併症予防と治療成績向上のために―			4	今釜 史郎	N, SS	7	082
6		最終ロッドをそっと置くための脊柱変形矯正術：骨粗鬆症脊椎再建に必要な 4 つのストラテジー			5	渡邊 慶	N, SS	4, 7	083
7		転移性脊椎腫瘍の診断および治療戦略			7	鈴木 亨暢	N, SS	5, 7	084

ハンズオンセミナー

No.	タイトル	日時		会場	講師
1	OLIF51™ 講習会	19日	9:20～11:20	ハンズオン	竹本 充
					飯田 尚裕
2	ここまで見える ここまで使える 脊椎エコー	21日	13:10～14:40		岩﨑 博
					片山 裕貴
					高田 知史

A. ＜認定単位種別（任意 1 分野まで）＞

スポーツ単位（S）
リウマチ単位（R）、
脊椎脊髄病単位（SS）
運動器リハビリテーション単位（Re）

B. ＜専門医必須 14 分野（必須 2 分野まで）＞

[1] 整形外科基礎科学
[2] 外傷性疾患（スポーツ障害を含む）
[3] 小児整形外科疾患（先天異常 、骨系統疾患を含む 、ただし外傷を除く）
[4] 代謝性骨疾患（骨粗鬆症を含む）
[5] 骨・軟部腫瘍
[6] リウマチ性疾患 、感染症
[7] 脊椎・脊髄疾患
[8] 神経・筋疾患（末梢神経麻痺を含む）
[9] 肩甲帯・肩・肘関節疾患
[10] 手関節・手疾患（外傷を含む）
[11] 骨盤・股関節疾患
[12] 膝・足関節・足疾患
[13] リハビリテーション（理学療法 、義肢装具を含む）
[14-1] 医療安全
[14-2] 感染対策
[14-3] 医療倫理
[14-4] 保険医療講習会、臨床研究 / 臨床試験講習会、医療事故検討会、医療法制講習会、医療経済（保険医療を含む）に関する講習会、地域医療 / 医療福祉制度に関する講習会
[14-5] 医学全般にわたる講演会などで、14-1 ～ 14-4 に当てはまらないもの
（14-1 ～ 4 は機構認定専門医共通講習、14-1、2、3 は機構認定専門医必修講習）